

Japanese Society of Biofeedback Research

# 第44回日本バイオフィードバック学会 学術総会

プログラム・抄録集

大会テーマ

## 先端技術と バイオフィードバック療法の可能性

会期 平成28年 6月11日(土)・12日(日)

会場 日本大学文理学部百年記念館

会長 松野 俊夫

日本大学医学部一般教育学系心理学分野

日本大学板橋病院心療内科

日本大学文理学部文学研究科

# プログラム

6月11日(土)

9:30～13:00 **バイオフィードバック技能師認定講習会**

2階 第1会議室

[ 医学系 ] 9:30～10:30

## 1 慢性疼痛と Biofeedback

○中村 祐三

東邦大学医療センター大森病院 心療内科

[ 工学系 ] 10:40～11:40

## 2 新しい電子デバイスを用いた Biofeedback の可能性

○星 善光

東京都立産業技術高等専門学校ものづくり工学科医療福祉工学コース

[ 心理学系 ] 11:50～12:50

## 3 自律訓練法とバイオフィードバック

○佐瀬 竜一

常葉大学教育学部

14:45～17:45 **特別ワークショップ**

2階 第2会議室

## [ 自作測定装置で学ぶ皮膚温バイオフィードバック ]

長野 祐一郎(文京学院大学人間学部)

6月12日(日)

9:30~10:45

一般演題 セッション1

2階 国際会議場

座長：廣田 昭久(鎌倉女子大学児童学部 子ども心理学科)

**1-1 呼吸セルフコントロール訓練に伴う呼吸感覚の変化**

○寺井 堅祐<sup>1)</sup>、黒原 彰<sup>2)</sup>、梅沢 章男<sup>3)</sup>

1) 福井赤十字病院、2) 放送大学教養学部、3) 放送大学福井学習センター

**1-2 心拍変動バイオフィードバック簡便法の検討**

—安静時 LF 周波数を利用したフィードバックの試行—

○榊原 雅人<sup>1)</sup>、及川 欧<sup>2)</sup>

1) 愛知学院大学 心身科学部、2) 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

**1-3 極地環境への適応 —心拍変動(HRV)を用いた自律神経系の評価—**

○及川 欧<sup>1)</sup>、榊原 雅人<sup>2)</sup>

1) 旭川医科大学病院 リハビリテーション科、2) 愛知学院大学 心身科学部

**1-4 休息および活性状態における脳波 $\alpha$ 波帯域含有量と心拍のゆらぎの関係**

○中畑 雄斗<sup>1)</sup>、萩原 啓<sup>2)</sup>

1) 立命館大学大学院 情報理工学研究科、2) 立命館大学情報理工学部

**1-5 高齢者に対する3次元複数物体追跡課題を用いた視覚認知トレーニングの効果**

○辻下 守弘<sup>1)</sup>、城野 靖朋<sup>2)</sup>

1) 奈良学園大学保健医療学部 看護学科・社会連携センター、  
2) 大阪行岡医療大学医療学部 理学療法学科

10:45~12:10

一般演題 セッション2

2階 国際会議場

座長：中尾 睦宏(帝京大学大学院公衆衛生学研究科・医学部附属病院心療内科)

**2-1 スポーツ選手の状況判断時の特徴評価における事象関連電位とメンタルローテーション課題の有用性の検討**

○松本 清<sup>1)</sup>、今川 新悟<sup>2)</sup>、佐久間 春夫<sup>3)</sup>

1) 立命館大学、2) 立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科、  
3) 立命館大学スポーツ健康科学部

**2-2 ゴールキーパーにおけるサビタイジング能力評価の検討**

—サビタイジング課題における事象関連電位の特徴を踏まえて—

○今川 新悟<sup>1)</sup>、松本 清<sup>2)</sup>、佐久間 春夫<sup>3)</sup>

1) 立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科、2) 立命館大学、  
3) 立命館大学スポーツ健康科学部

**2-3 仮想現実レクリエーションシステムは高齢者の未病対策にどのように活用できるか**

○小貫 睦巳<sup>1)</sup>、田中 一秀<sup>2)</sup>、三田村 勉<sup>3)</sup>

1) 常葉大学保健医療学部、2) (株) AwesomeLife、3) (株) ラッキーソフト

## 2-4 強迫神経症の面接においてバイオフィードバックトレーニングが効を奏した例

○佐藤 真也<sup>1,2)</sup>、桑澤 三保子<sup>1)</sup>、宇佐見 万喜<sup>1,3)</sup>、清水 淳<sup>1,2)</sup>、  
尾崎 達哉<sup>1,2)</sup>、清水 努<sup>1)</sup>、宇佐見 敏夫<sup>1,4)</sup>

1) 横浜心理トレーニングセンター、2) うさみ心のクリニック、3) 日本女子大学、  
4) 東海大学大学院

## 2-5 当院におけるバイオフィードバック療法の動向

○小山 明子、竹内 武昭、都田 淳、佐野 仁子、端詰 勝敬  
東邦大学医療センター大森病院 心療内科

## 2-6 自律神経機能異常を伴ううつ状態例に対するバイオフィードバック療法の効果 — 自律神経機能及び心理的变化から検討する —

○飯田 俊穂、飯田 光子、飯田 香穂  
安曇野ストレスケアクリニック

12:10～12:30 **会長講演**

2階 国際会議場

### [ 公認心理師法の経過と今後の課題 ]

松野 俊夫 (日本大学医学部一般教育学系心理学分野、日本大学板橋病院心療内科、  
日本大学文理学部文学研究科)

14:30～17:00 **シンポジウム**

2階 国際会議場

座長：野村 忍 (早稲田大学人間科学学術院)  
稲森 義雄 (前ノートルダム清心女子大学)

#### 1 医療・心理臨床の立場から、現在から未来への バイオフィードバックトレーニング(BFT)を考える

○宇佐見 敏夫  
うさみ心のクリニック/横浜心理トレーニングセンター

#### 2 低負担の呼吸計測法について

○大須賀 美恵子  
大阪工業大学工学部

#### 3 先端技術と biofeedback 療法の可能性

○小貫 睦巳  
常葉大学保健医療学部

#### 4 最近のバーチャル・リアリティ技術とその臨床応用可能性について

○星野 聖  
筑波大学システム情報系